



■ 山間地における景観形成建造物調査



■ 保存再生調査及び活用計画
河川の水流を動力にした蒟蒻製造工場



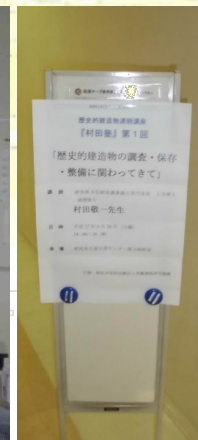
■ 民家調査／赤城南麓の養蚕農家



■ 詳細調査／土蔵



■ 見学会／臨江閣別館



■ 公開講座「村田塾」
一般市民・専門家を対象とした
歴史的建造物に関する連続講座
を開催

■ 景観建造物調査
上／明治期の煉瓦倉庫
前橋を象徴するデザイン
コードである
中／広瀬川上流に架かる
石川橋。大正期の建造。
現在の姿は昭和9年に改
装されたもの
下／広瀬川交水堰。製糸
会社（交水社）に水を引
入れるために作られた。
郷土を代表する詩人・萩
原朔太郎の詩「広瀬川」
は、この場所を詠んだと
いう。豊かで力強い水は
前橋の原風景である



活動部門

建築物の保存問題全般

特活)景観建築研究機構

景観・歴史的建造物の保存整備と活用

特定非営利活動法人景観建築研究機構は、景観や歴史的建築、観光資源等の調査・研究・提言、及び保全計画・利活用計画の提案を行うことを目的に設立されたNPO法人です。2005年にJIA会員有志がその活動のために結集したことが始まりで、専門家集団としての社会貢献を目指しております。

これまで多くの皆様に支えられながら、10年の実績を積み上げ、建造物や景観の保護整備、登録有形文化財申請の責任等を負わせて頂いております。□に研鑽を積み、学ばば学ぶほど、50年先、100年先に歴史的建造物を伝える使命の重責に気を引き締めることが多くなって参りました。歴史的建造物に込められた先人の知恵、心意気、メッセージに謙虚に耳を傾けることは継続可能社会やより豊かな生き方への多くのヒントを得ることでもあります。

また、文化財の中でも、特に建造物は多くの人に開かれ、語りかけ、説得力を有する雄弁な公共的資産といえます。

その翻訳者、伝達者として、地域社会により貢献して参ります。

景観建築研究機構

羽鳥 悟

理事長・JIA会員

岡田敦志

副理事長・JIA会員

須田睿一

業務委員会・JIA会員

長井淳一

総務委員会・JIA会員

永井福二

広報委員会・JIA会員

会員数 24名

(JIA会員 16名)